

第 419 回生命科学セミナーのお知らせ

下記の通り生命科学セミナー(統合生命科学研究科セミナー)が開催されますので、教員・院生・学生を問わず、多数ご参加下さい。

記

日時: 2021年11月24日(水) 17:45~18:30

場所: 広島大学 総合科学部 第一会議室

演題: 新規脳因子 NPGL による脂肪蓄積メカニズムの解明

演者: 福村 圭介 氏

(広島大学・統合生命科学研究科・助教)

《 講演要旨 》

内分泌系による摂食行動や代謝機能の調節は、無脊椎動物から脊椎動物まで幅広い生物種で保存され、エネルギーホメオスタシスに大きく寄与している。例えば、哺乳類の脳神経系から分泌される Neuropeptide Y (NPY)や昆虫の NPY ホモログである Neuropeptide F は、摂食行動を正に調節することが明らかとなっている。また、脂肪組織から分泌される Leptin を欠損したマウスでは、摂食行動の亢進と過度な肥満が認められる。このように、単一の分泌性因子の欠損がエネルギーホメオスタシスの破綻に繋がる一方で、新規の分泌性因子は、生物種を問わず約 10 年以上見つかってこなかった。

本セミナーでは、現在までに得られている摂食行動、代謝調節の分子メカニズムについての知見に加え、演者の所属研究室で近年発見された分泌性の新規脳因子 Neurosecretory protein GL の機能解析の結果を紹介したい。

責任者 統合生命科学研究科・佐藤明子(内線 6507)

(注) 本セミナーは統合生命科学研究科セミナーとしてプログラム共同セミナーの対象です。